

ふなみち

2022年
1月21日(金)
第3552号

船橋市役所
職員労働組合
発行責任者
青木 賀一
編集責任者
神 義明
Tel.047(436)3093
fax(436)3091
Eメール
f-kumiai@alpha.
ocn.ne.jp

21秋闘 副市長交渉報告

国準拠の姿勢。積極的の回答無し

組合では、21秋闘年末要求回答を受け、昨年12月7日(火)に職員課長交渉、12月27日(月)に総務部長交渉を行いました。急激な感染拡大により21日からのまん延防止措置の適用目前の1月20日(木)に副市長交渉を行いました。

交渉の冒頭、辻副市長から「コロナ禍で対応にあたる職員に対し、これまでの頑張り感謝している、よりよい職場にしていくような場にしてほしい」との言葉がありました。

賃金に関する要求

組合 組合では特勤手当や元気回復金(仮称)などの呼称で支給を求めてきたが、これまでの交渉の中で、公務員給与は頑張りに対するものではなく、均衡の原則と情勢適用の原則に基づき、国人勸を反映しているとのことであった。今国会における施政演説の中で



副市長 総理が賃上げに言及した。民間が上がり、人勸に反映し、という正のスパイラルになることは好ましいこと。重点的な処遇改善の必要がある職種の具体として、保育・介護が示されている。地方公務員も対象になることは聞いている。詳細がはつきりせず検討し

ているところ。それ以外の職については国の考え方に倣うことが適切と考える。

組合 会計年度任用職員の期末手当削減の課題の見直しについてはどうか。制度導入は処遇の改善が主旨であった。

副市長 削減をすることは制度としてどうなのかという点はある。この在り方、処遇をきちんとする。ことについては注視していきたい。

首相は賃上げについて言及しており、中小製造業の社長の「可処分所得を3%引上げたい」という言葉を引き合いに出し、賃上げが原動力となった。更なる成長、好循環を作り、公的価格引上げや適正な価格転嫁が出来る環境整備を進めると述べている。

更に、春闘について近年の賃上げ率の低下傾向のトレンドを一緒に反転させたい、最低賃金も全国加重平均千円以上になるよう取り組みたいとしている。

また、「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」において、いわゆる「ケア労働者の処遇の改善」を行うとしている。市として出来ることは何か。

令和3年給与改定の賃金水準を超える処遇改善を令和4年度は行う必要があるとのことから賃上げのトレンドはある。「ケア労働者処遇改善」の該当外の職員に対しては、元気回復金(仮称)支給対象として対応を求めると。

仕事の効率化という観点から、ハラスメントに係る熱重・コストは相当なものである事は理解されていると思う。ハラスメントの根絶は業務改善に大きく関わるものであるといつことをもう一度思い返していただき、被害職員のケアと併せてしっかりと対応を求めると。

副市長 根絶すべきもの。ハラスメントは両者にとって良い結果を生まない。昨年度に処分を行ったことは職員に対し明確なメッセージになったと考えている。研修の効果も出てきていると感じるが、続けていくことが大事。ケアについては被害職員への聞き取りやフォローをしていきたい。

常習的に繰り返す人間は管理職に向いていない、この観点は強く持たなければいけない。健全な職場を作っていくことは大事な要素である。

組合 失職の特例について、これまでの交渉で「不幸な事故はあるが、原則、地公法に則っており、県は特例を設けていない。近郊で設けているところがあるのは承知しているが一般的とは捉えていない。注視していく必要はある。」とのことである。

執行猶予制度の趣旨を鑑みれば「不幸な事故」で済ましてはいけない事例があると考ええる。

事則に当てはまらなかった事例や「ユーマンエラー」があることなども考え合わせると、規定の見直しは必要であると考える。

副市長 他市事例や考え方をきちんと調べ、研究をしていきたい。

組合 交渉外だが、コロナに関して感染者数が急激に増えており、保健所の体制・対応についてはどうか。

副市長 健康観察の期間が短い、数が多いのでマンパワーは必要になる。

組合 納得のいく回答を求め、市長交渉を要求し交渉を終わる。



スマホ位置情報で足跡

グーグルは何でも知っている

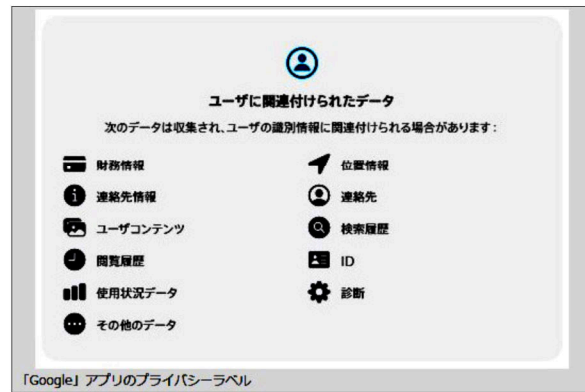
便利になったスマホ

CMで、アップルウォッチが転倒検出機能を使って転倒して動けない方になりかわり、緊急通報サービスで電話をかけ、状況や位置情報などを通報している実際の音声聞いたときは感心しました。子どもや年配者が帰宅したり、いるはずの場所に行かない時に通知を受け取れるなど衛星利用測位システム(GPS)を使ったサービスの進化には目を見張るものがあります。

グーグルの基本ソフト、アンドロイドを搭載したスマホでグーグルマップを使用したり、検索したりしていると、登録した覚えがない場所や趣味の類まで記録されます。

個人情報収集しすぎでは!

目的までの経路を調べるときに便利なスマートフォンの位置情報機能は便利なもので、スマホを持つ人の位置を特定する一方、過去に訪れた場所もしっかり記録します。



たとえばアップルのプライバシーシールラベル(アプリが収集している情報を消費者にわかりやすく表示したもの)では、アプリの改善を役立てるためのデータを匿名で集めているのに対し、グーグルでは一部は無効化することも可能とはいえ、多くの個人情報収集されているのが目につきます。収集している情報がグーグルマップなどで現在地を取得するための位置情報や音声入力のためのオーディオデータ、設定を同期するのに必要なユーザー情報、有料コンテンツを購入するための支払情報などが含まれており、アプリの利便性を向上させるためには仕方のないものが大半ですが、それでもやはり収集範囲が広いのは気になります。検索を行うためのアプリをみると、さらに多くの個人情報収集されていて、連絡先情報(所在地・メールアドレス・名前)なども含まれているのが気になります。

ターの柴崎教授の協力を得て、独自に作成したシステムで位置情報データを分析し、可視化してもらった記事がありました。グーグルのサイトから、自分の位置情報や検索履歴を取り出したところ、スマホ利用時に位置情報の機能をオンにしていると、毎晩いる場所が自宅、昼間よく行く場所は職場だと判断され、移動すると位置が変わり時間も記録されるため、出勤時間や帰宅時間に加えて週末に訪れる趣味のフットサル場まで解ってしまい、移動速度から移動手段までも推測しているそうです。グーグルマップを使う場合、私たちは無料で位置情報サービスを利用できますが、グーグルは利用者の位置情報や検索履歴を基に興味を引く広告を出し企業から広告料を得ています。「この人はど

こにおいて、〇〇についてよく検索しているから、この広告を出せば購入してくれる可能性が高い」。結果その広告をスマホに表示させます。

リスクを忘れずに

グーグルは位置情報の取得は利用者の許諾を得ており機能はいつでもオフにできるとしている。グーグルはいかに多くの情報を収集しているのかが解りますが、きめ細かいサービスが受けられる反面、過度なプライバシー情報の収集やWeb行動の追跡リスクがあることも忘れずに利用することが大切です。(千葉日報一部引用)

スマートフォンの位置情報機能のイメージ

グーグルマップ



スマホ位置情報機能 ON

訪問先記録



自宅や職場、趣味までグーグル把握

千葉日報の記者さんが、東大空間情報科学研究セン

組合の方へ 自治労連共済更新のご案内

★生命・医療・交通災害共済、セット共済

- 契約内容に変更の無い方は、継続用紙提出は不要です。
- 契約内容(口数・金額・住所・氏名等)変更の方は2月10日(木)必着で継続用紙のご提出を。

★火災共済



- 契約内容に変更の無い方は、2月10日(木)必着で年間掛金を納入願います。
- 契約内容(口数・金額・住所・氏名等)変更の方は継続用紙を年間掛金とともにご提出を。

継続用紙の記入方法等、詳細については配布の「契約更新のご案内」をご覧ください。詳しくは 組合事務室 TEL436 - 3093 共済担当山下まで。

「働くみんなの要求・職場アンケート」にご協力を!

22春闘要求づくりのために、管理職をのぞくすべての職員のみなさまに「働くみんなの要求・職場アンケート」を配布しています。



2月17日(木)までに組合にご提出ください。組合事務室が閉じている場合はボイスカード入れに投函いただいても大丈夫です。